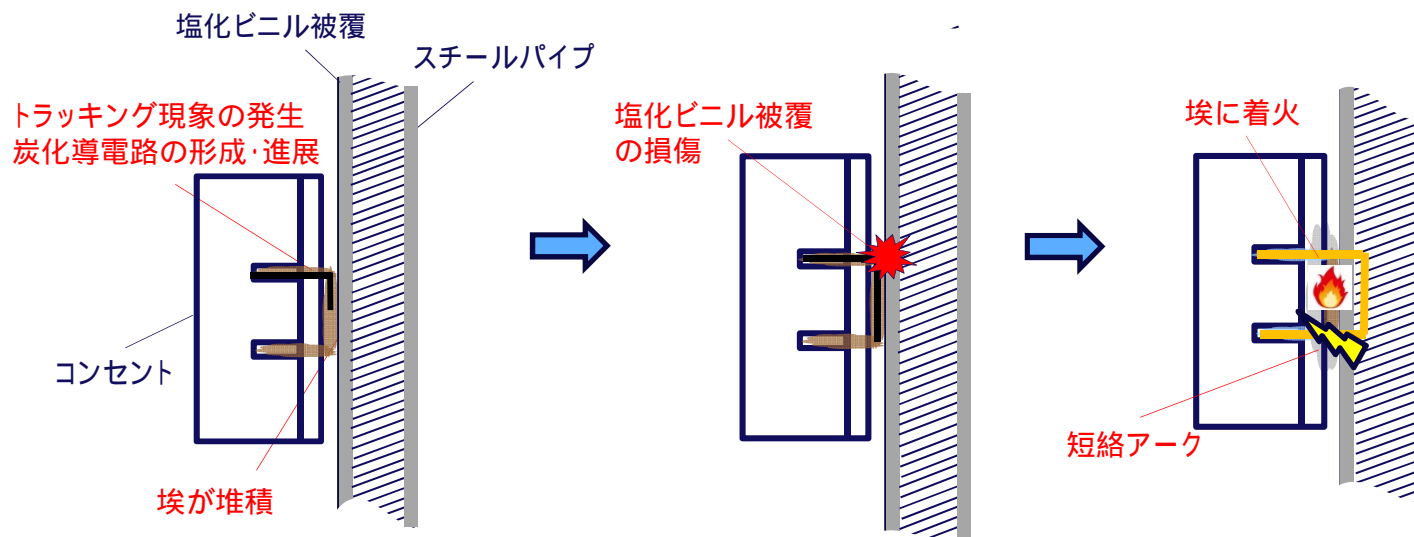


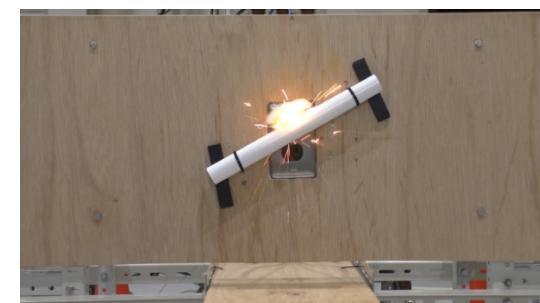
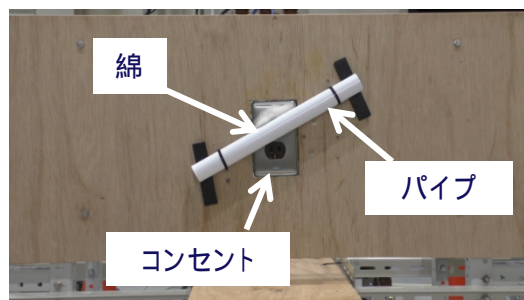
プレス公表（運転保守状況）

No.	お知らせ日	号 機	件 名	内 容
	2017年 2月23日	6/7号機	柏崎刈羽原子力発電所での火災の発生 について (第1報、第2報、第3報)(区分)	<p>【発生状況】 2017年2月23日午後3時24分頃、6/7号機サービス建屋2階ロッカー室において火災が発生したため、当社社員および協力企業において初期消火活動を実施しました。その後、当社の自衛消防隊と消防署による消火活動を実施し消火しました。 消防署による現場検証の結果、午後4時42分に鎮火が確認されました。その後、消防署による現場確認を実施していましたが、火源は特定されませんでした。消防署による現場確認は午後6時55分に終了しました。 2月24日以降、引き続き当社による現場確認を行います。</p> <p style="text-align: right;">(2017年2月23日お知らせ済み)</p> <p>【対応状況】 その後、当該ロッカー室に保管してあった書類、テレビ等の焼損状況から付近に設置されているコンセントを中心に原因調査を行っていましたが、この度、推定原因と再発防止対策が纏まりましたのでお知らせいたします。</p> <p><u>推定原因</u> ・焼損のあったコンセント等の異常の有無の確認および再現調査の結果から、火災の推定原因としてコンセント付近に埃が溜まり、トラッキング現象等を発生させる条件が複数重なることにより、当該コンセント付近から出火した可能性が考えられました。(詳細は添付資料参照)</p> <p><u>再発防止対策</u> 本事象に至った推定原因を踏まえ、事務本館やサービス建屋等のコンセント付近からの出火を防止するため、以下の対策を実施することとしました。 ・コンセント周辺に可燃物がないか確認し、可燃物を撤去しました。 ・本事例について関係者へ周知するとともに、使用されていない全てのコンセントに閉止キャップを取り付け、埃の堆積の防止を図ってまいります。</p>

現場の状況から推定される事象発生メカニズム



<再現調査>



コンセント差し込み部、コンセントとパイプ間に埃が堆積
吸湿・結露により埃が湿潤状態となり、絶縁が低下
リーク電流によりトラッキング現象が発生し、埃を介し炭化導電路が形成・進展

トラッキング現象時の発熱により、塩化ビニル被覆が損傷、内部のパイプが部分的に露出
コンセント端子から埃、スチールパイプを経由する短絡経路が形成

コンセント端子と塩化ビニル被覆スチールパイプ間で短絡アークが発生
埃に着火し、周囲の可燃物へ延焼